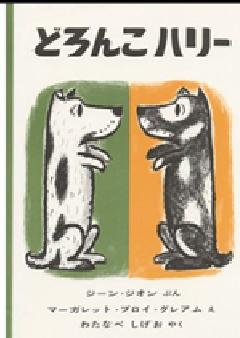


3歳児クラス 9月 第3回 「どろんこハリー」



保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材


シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 途中「ハリーはどこかな？」と問いかけながらお話を進行、場面に集中できる工夫をする。 「びよん」「すっとん」「じーつと」等擬音の表現を豊かに表現する。 ＜活動①・②＞の答えとなる部分を意識して子どもたちの記憶に残るように強調・確認しながら進行。特に集中力が途切れやすい子、話の記憶の苦手な子にはさりげなく巻き込みながら読み進める。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート(しぬ) 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：ペープサートを軽快に動かしながら登場。自己紹介するなどお話を導入となる内容で講師と会話しお話をスタートさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A°-パーツ持って登場 ・子どもたちと一緒にストーリーや会話を楽しむ 	



がくしゅうタイム

活動①	記憶	ストーリーを思い出し、正しいものに自信を持って○をすることができる	
設問	ハリーが最初嫌いだったことはなんですか？探して○をつけましょう。		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ハリーお風呂好きになって良かったねー」 保：「今日も絵本博士からクイズが届いてますよ」とプリント提示。 		P 1
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「クイズが届いてるよ。今日もチャレンジしてみる？」と意欲を引出しプリント、クレヨン配布。プリントの絵を一つずつ確認後設問。○するクレヨンの色（特に中間色）を指定しても良い。 講：みんなが○ができたの確認して、絵本で正解を確認。はなまるやスタンプで賞賛。 ※プリント問題を続け賞賛のはなまるやスタンプをもらうことに楽しみを覚えはじめると、自信なく周りを見ている子や正解を「これ？」と指さし確認しないと○を付けられないなど「間違えること」に対して恐怖心を持つ子があらわれてきます。「間違えたらあとで直せばいいよ。思ったものに自信をもって○してごらん」とまずは○をさせ、答え合わせの後で自分で「○○だった」と気づかせることも大切です。また講師、保育士も間違いを指摘するより「自信をもって印ができた」ことを認め「次も良く聞こう」と集中力をあおるように心がける。 プリントを一枚めくる。 		★クレヨン
	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの入った封筒を持って登場。 ・プリント、クレヨン配布 ・子どもたちの解答状況を見守り必要に応じてフォロー ・賞賛 ・プリントめくり補助 	
活動②	記憶	※＜活動①＞と同じ	
設問	ハリーが庭に埋めたものはなんですか？探して○をつけましょう。		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「次もクイズです！」とプリント提示。 		P 2
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの絵を一つずつ確認後設問。＜活動①＞同様○するクレヨンの色（特に中間色）を指定しても良い。 ・絵本で正解を確認し、はなまるやスタンプで賞賛。 ・講：「どうしてブラシを隠したのかな」など問いかけ、ことばを引き出してみる。また「お話の最後にどうしてまたブラシを掘り出してきれいなお風呂に入ったのか？」についても話し合ってみると良い。 ・プリントを一枚めくる。 		★クレヨン
	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの解答状況を見守り必要に応じてフォロー ・賞賛 ・プリントめくり補助 	

活動③	描く	ハリーの気持ちになって自分なりの「ふかふか」を表現することができる	
設問	ハリーがよく眠れるように、ふかふかのお布団を描いてあげましょう		教材
こま	<ul style="list-style-type: none"> 講：「シーッ！ハリーが寝てるよ。何の夢見てるのかな？」とプリント提示。 		P3
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「何だか床の上で痛そう、いいこと考えた」とクレヨン提示。「いい夢見られるようにふかふかのお布団描いてあげよう」と見本行動。絵本の最後のページを参考に、好きな色でお布団を描く。色を塗ったり模様を描いたりして、ふかふかのお布団を仕上げる。 子：講師同様に自分の考えるふかふかのお布団を描く。 ※自由画はまだ描写表現の未熟な子どもたちにとっては難しいことです。描きかたのきっかけとなるように見本を見せ講師の「真似」から自信を持たせても良い。 講師・保育士は個々に「ハリーはどんな夢を見ていると思う？」など問いかけト書きに記入していく。 個々の「ふかふか」の表現を紹介。みんなで見せ合いっこ。賞賛して終了。プリント回収。 		<ul style="list-style-type: none"> ★クレヨン 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの表現を見守り夢についてインタビュー 賞賛 プリント回収。

数チャレ	数の操作	「4こ」のおはじき。見えている数から手の中にいくつ隠れているかを考え答えることができる。	教材
設問	「4こ」のおはじきの操作。 握った片手の中にはいくつのおはじきがかくれている？		おはじき
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> これまで繰り返してきた中での個々の理解度に合わせ数を変えスピードアップするなど難易度をあげて提示していく。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 4このおはじきの内数個（1こ・2こ・3こ）を片手に握り「いくつ隠れている」と設問。 必要に応じて一緒に数える